

2002年度事業成果物

Let's Enjoy エコライフ in みやぎ 2003

環境家計簿モニターさんからのデータ収集による報告書です。ご協力いただいたモニターの皆さんありがとうございました。今回は省エネに関する情報量を増やして読みやすいものにしました。(環境事業団地球環境基金の助成金を得て作成しました)



みやぎエコ体験プログラム

ほら、やってみよう!

宮城県内でできる体験学習のためのガイド冊子です。検討委員会をつくり、県内で環境に配慮した体験学習の受け入れを行なっている方々取材し、24名の方を掲載しました。冊子は好評で、既に在庫はほとんどありませんが、宮城県のホームページの中で内容を全てご覧いただけます。(県の委託事業で作成しました)

<http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/yatte/yattemirain.htm>

ストップ温暖化センターみやぎ「通信」⑬

2000年5月22日にMELONが宮城県地球温暖化防止活動推進センターに指定され、ストップ温暖化センターみやぎとして活動を開始してから、はや3年が経ちました。

地球温暖化に関する環境教育

昨年度は、運営委員の門田陽子理事による学習会をはじめとして、地球温暖化に関する学習機会の支援活動を数多く行ないました。特に省エネモデル校や、中学校での総合的な学習の時間、市町村役場などでの職員研修、地域の市民グループなど昨年1年間で33件、延べ人数で1,655人の方に地球温暖化問題と身近に取り組める省エネ実践について知ってもらうことができました。

今年度も、すでに様々な地域の団体などから依頼があります。この活動をきっかけにして地球温暖化問題を知り、省エネ活動に取り組む人が一人でも増えればと思います。



IT技術利用エコドライブ診断モデル事業を実施。アイドリングストップが鍵?

昨年2月に、環境省モデル事業「IT技術利用エコドライブ診断モデル事業」を実施しました。仙台市周辺のモニター32名の参加を得て、自家用車に機械を付け、1ヶ月間データを取りました。燃料の消費では、空ぶかしや急発進に比べて、アイドリングの方が燃料消費割合が大きいことがわかりました。仙台地域では渋滞がひどく、公共交通機関の利用促進や利用しやすい整備なども含めて、交通に関して重点的に取り組む必要があると感じています。(結果はMELONのホームページにも掲載予定です。)

お知らせ

市民がつくるみやぎ環境白書 2002年度「ヨハネスブルグ・サミットそして地域の取組み」ができ上がりました。ヨハネスブルグ・サミットで何が決まったかについてのCASA早川光俊さんのレポートや、MELONから参加した2名の活動報告、一昨年に行われたMELON環境大賞受賞者の紹介など盛りだくさんの内容です。一家に一冊?の保存版です。ご希望の方はMELON事務局までお問い合わせください。

担当：南
(1冊1,000円)